資料1

報告事項

（1）母子保健課より

- 乳幼児健診事業について
- 障害者（児）歯科保健事業について
- 地域歯科保健推進研修会について

乳幼児健診事業について

1. 事業概要

乳児健診（10か月児健診）においては歯科保健指導を実施し、幼児健診（1歳9か月児、2歳6か月児、3歳6か月児健診）においては、歯科健診・歯科保健指導・フッ化物塗布を実施している。

2. 受診状況

図表1

10か月児健診	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者（人）	2,699※2	2,467	2,642	2,351	2,299
受診者（人）	2,413	2,299	2,441	2,371	2,202
受診率（%）	89.4	93.2	99.1	100.9※1	95.8

1歳9か月児健診	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者（人）	3,066※2	3,101※2	2,488	2,509	2,347
歯科健診受診者（人）	2,736	2,652	2,332	2,335	2,363
受診率（%）	89.2	85.5	93.7	93.1	100.7※1
フッ化物塗布希望者（人）	2,584	2,503	2,125	2,243	2,295
フッ化物塗布率（%）	94.4	94.4	91.1	96.1※3	97.1

2歳6か月児健診	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者（人）	3,018※2	4,040※2	2,568	2,530	2,497
歯科健診受診者（人）	2,643	3,285	2,328	2,341	2,343
受診率（%）	87.6	81.3	90.7	92.5	93.8
フッ化物塗布希望者（人）	2,460	2,995	2,066	2,182	2,246
フッ化物塗布率（%）	93.1	91.2	88.7	93.2※3	95.9

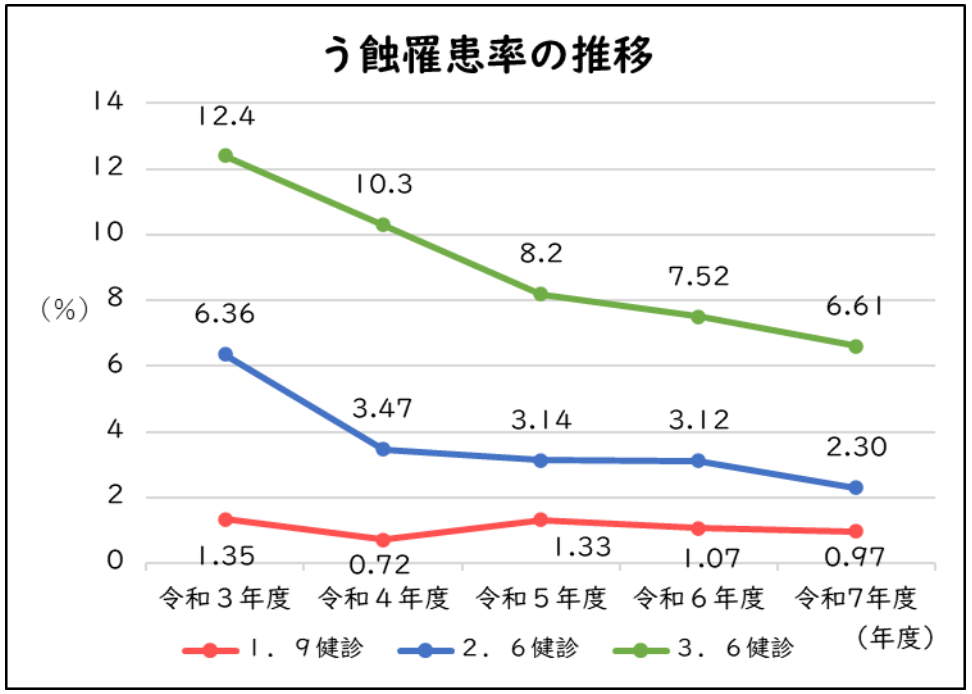
3歳6か月児健診	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者（人）	2,920※2	2,874※2	3,540※2	2,610	2,565
歯科健診受診者（人）	2,577	2,575	3,256	2,473	2,452
受診率（%）	88.3	89.6	92.0	94.8	95.6
フッ化物塗布希望者（人）	2,370	2,259	2,746	2,264	2,262
フッ化物塗布率（%）	92.0	87.7	84.3	91.5※3	92.3

※1　10か月児健診は、1歳6か月児まで、1歳9か月児健診は2歳4か月まで受診可能であり、未受診者対応等によって、令和6年度及び令和7年度の受診率が100%を超えた結果となった。

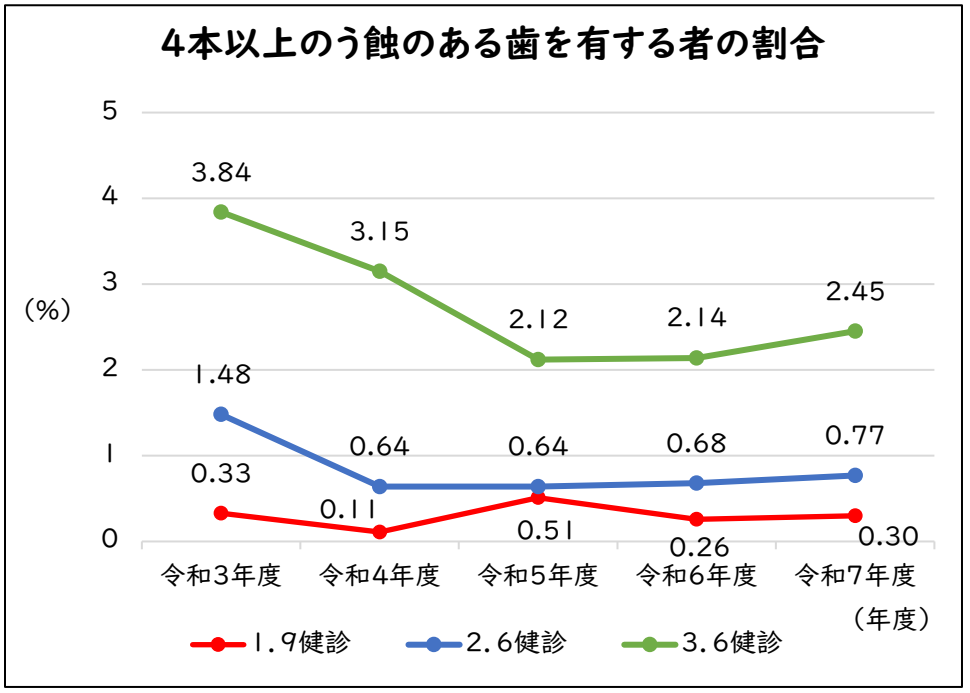
※2　新型コロナウイルスの影響で、令和2年3月から5月まで健診を中止したため、令和4年度から令和5年度までは健診回数を増やして実施した。

※3　令和6年度からフッ化物塗布にかかる手数料400円を無料とした。

図表2



図表3



※健康おおつ21（第3次）の達成目標：3歳児で4本以上のう蝕のある歯を有する者の割合0%

3. 令和8年度実施状況

個別・集団指導や丁寧な主訴対応、フッ化物塗布を実施することで継続的な歯科保健管理の意識向上につながっている。引き続き、歯科保健推進に向けて取り組んでいく。

障害者（児）歯科保健事業について

1．障害児巡回歯科保健指導

①事業概要

地域療育教室通園児に対し、歯科健診および歯科保健指導、歯科講話を実施する。

1回目：歯科保健指導　　（5月～7月）

2回目：歯科健診、歯科保健指導（9月～11月）

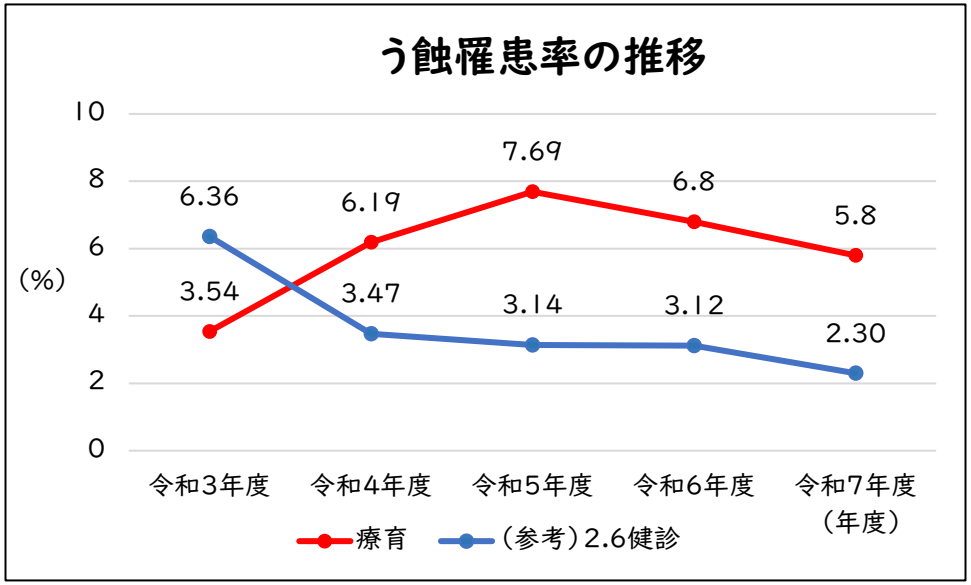
②令和7年度実施結果

図表4

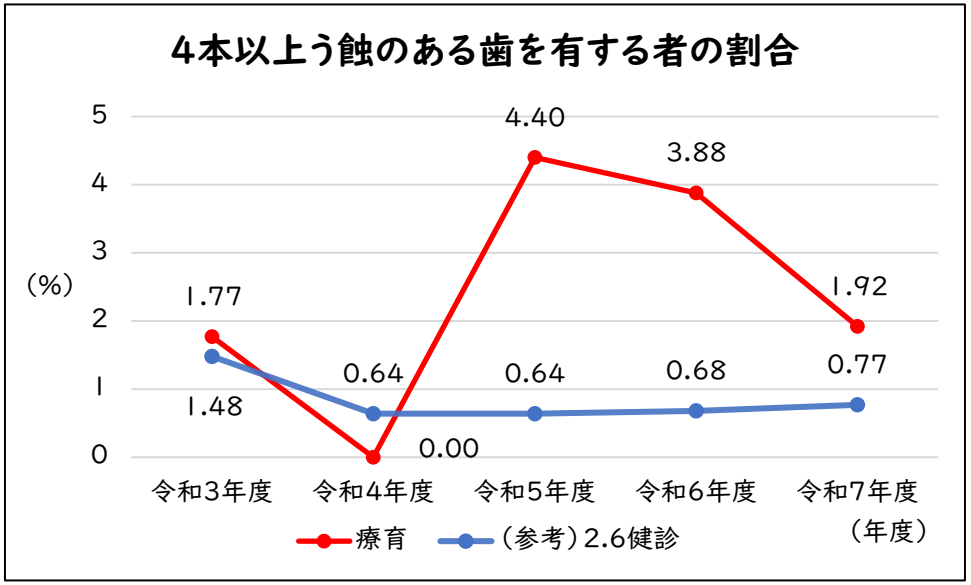
施設名	歯科健診			1回目：歯科保健指導			2回目：歯科保健指導		
	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
やまびここども療育センター	44	41	93.2	38	37	97.4	41	40	97.6
北部こども療育センター	33	28	84.8	32	30	93.8	33	31	93.9
東部こども療育センター	39	35	89.7	38	36	94.7	39	39	100.0
全体	116	104	89.7	108	103	95.4	113	110	97.3

- 全体の受診率は、歯科健診は約9割、歯科保健指導は9割後半となっている。

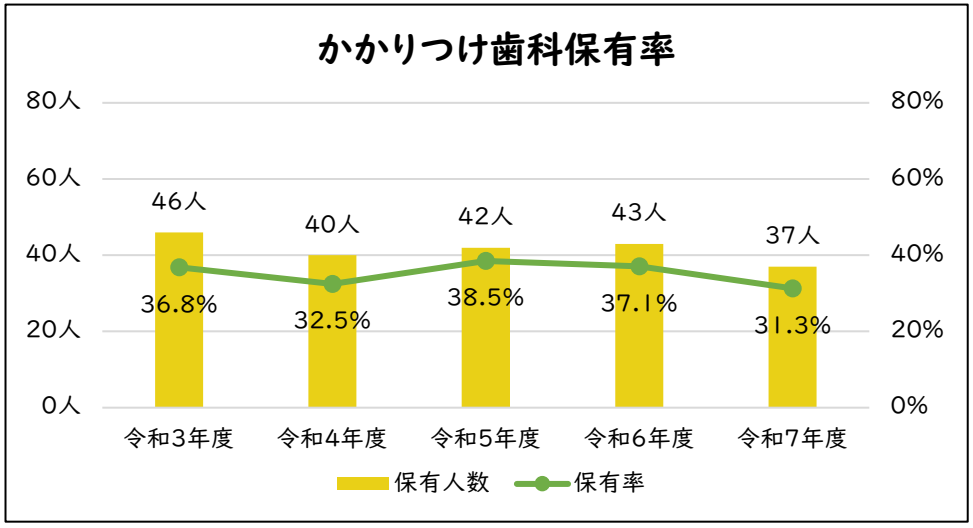
図表5



図表6



図表7



※滋賀県歯科保健計画の達成目標：かかりつけ歯科医を持っている者の割合50%（地域療育教室通所児）

【保護者向け講話参加者】 参加人数 47名

講話の感想（アンケートから抜粋）

- ジュースの飲ませ方や歯磨きの仕方を実践していきたい。
- 今まで自分の常識だと思っていたことも色々研究されていくなかで変わってきていると思った。新しく知れたこともあり良かった。
- むし歯予防について改めて知れて良かった。気になっていたことについてもアドバイスしてもらえてありがたかった。まだかかりつけ歯科がないのですぐに探してみようと思う。
- 大切な歯を守っていきたい。

③令和8年度実施状況

5月～6月にかけて1回目の歯科指導を実施した。9月以降の歯科指導、歯科健診においても予定どおり実施していく。子どもの特性から、仕上げ磨きや歯科受診に悩んでいる保護者が多いため、今後も一人ひとりの主訴に丁寧に対応していく。

2. 障害児受診支援のための歯科医院リストの作成

①事業概要

障害児が歯科保健医療サービスをその生活圏内で安心して受けることができるための体制整備を目的に大津市歯科医師会と連携し、歯科医院リストを作成のうえ、周知している。

②登録医療機関数

令和7年度　46医療機関

令和8年度　46医療機関

3. 障害者（児）歯科研修会

①事業概要

障害者（児）が地域の身近な歯科医療機関で安心して受診できる体制づくりを推進するために、歯科医療従事者を対象とした研修会を開催する。

②令和7年度実施結果

開催日	令和7年10月23日（木）
場　所	明日都浜大津4階ふれあいプラザホール
参加者	43名
演　題	一次診療での障がい者歯科診療～私の行っている障がい者歯科～
講　師	松村　康平　先生（大阪府八尾市歯科医師会　松村デンタルクリニック　院長）

③令和8年度実施予定

開催日	令和8年10月22日（木）（予定）
場　所	明日都浜大津4階ふれあいプラザホール
演　題	開業医だからこそできる診療の工夫～環境づくり・継続支援の実際～
講　師	光吉　平　先生（大津市歯科医師会　光吉歯科医院　院長）

地域歯科保健推進研修会について

1. 事業概要

歯科保健に必要な知識を普及・啓発するため、市民を対象に年1回開催している。

2. 令和7年度実施結果

対象者	乳幼児を子育て中の市民
開催日	令和7年9月10日（水）
内　容	子どものむし歯予防、保護者の歯周病予防
場　所	明日都浜大津3階　乳幼児健診室
講　師	伊東　誉晃　先生（大津市歯科医師会　伊東歯科医院　院長）
参加者	32名（大人17名、子ども15名）

3. 令和8年度実施状況

対象者	乳幼児を子育て中の市民
開催日	令和8年12月17日（木）
内　容	子どものむし歯予防、保護者の歯周病予防
場　所	明日都浜大津2階　総合健診室
講　師	伊東　誉晃　先生（大津市歯科医師会　伊東歯科医院　院長）

資料2

報告事項

（2）健康推進課より

- 歯周病検診事業について
- 歯科保健啓発について
- 特定健診結果説明会での歯科保健指導について
- フッ化物洗口事業について

歯周病検診事業について

1. 事業概要

検診をきっかけにかかりつけ歯科を持ち、生涯にわたって歯・口腔の健康を保つために、歯周病の予防・早期発見・早期治療を推進し、口腔保健意識の向上を図ることを目的に実施している。

2. 対象者

図表1

	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	妊婦	合計（人）
H28	-	3,593	4,238	5,074	5,345	2,800	21,050
H29	-	3,468	3,869	4,725	5,610	2,680	20,352
H30	-	3,375	3,851	4,454	5,619	2,605	19,904
R1	-	3,552	3,979	4,534	5,633	2,495	20,193
R2	-	3,235	3,849	4,339	5,423	2,422	19,268
R3	-	3,195	3,734	4,206	5,082	2,431	18,648
R4	-	3,188	3,663	3,999	4,789	2,393	18,032
R5	-	3,179	3,693	4,228	4,779	2,334	18,213
R6	-	3,249	3,545	4,140	4,496	2,184	17,614
R7	3,119	3,268	3,427	4,070	4,507	2,250	20,641

3. 受診結果

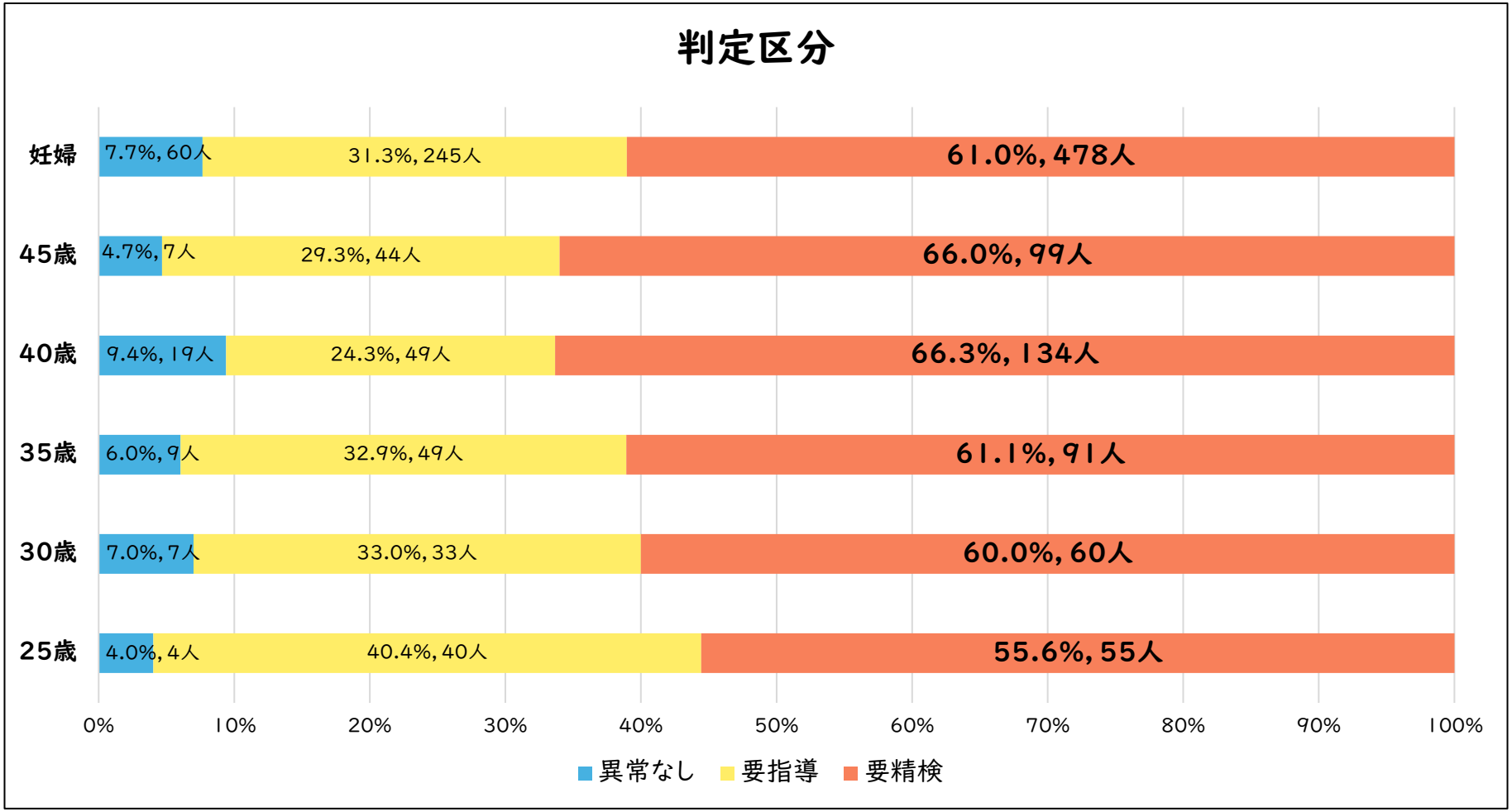
図表2

	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	妊婦	合計（人）	受診率	妊婦受診率
H28	-	129	127	117	120	441	934	4.4%	15.8%
H29	-	208	162	171	139	455	1,135	5.6%	17.0%
H30	-	152	136	172	110	479	1,049	5.3%	18.4%
R1	-	158	158	157	90	511	1,074	5.3%	20.5%
R2	-	166	145	155	97	501	1,064	5.5%	20.7%
R3	-	174	149	143	131	517	1,114	6.0%	21.3%
R4	-	166	144	186	107	560	1,163	6.4%	23.4%
R5	-	122	114	144	102	698	1,180	6.5%	29.9%
R6	-	130	143	174	170	809	1,426	8.1%	37.0%
R7	99	100	149	202	150	783	1,483	**7.2%**	**34.8%**
年齢別受診率	3.2%	3.1%	4.3%	5.0%	3.3%				

- 受診率について、年齢による差はほどんど見られなかった。（妊婦を除く）

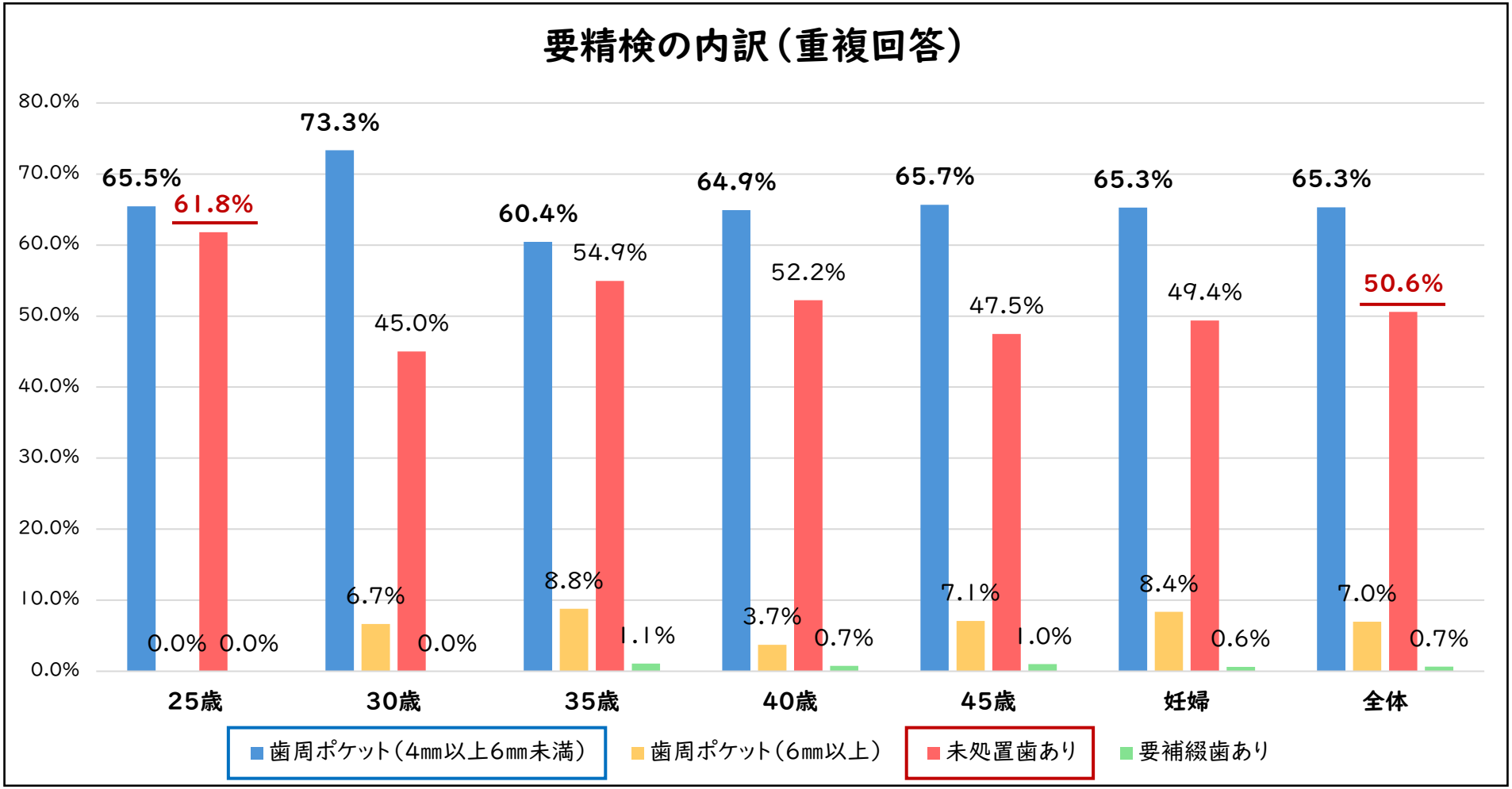
4. 令和7年度受診結果

図表3



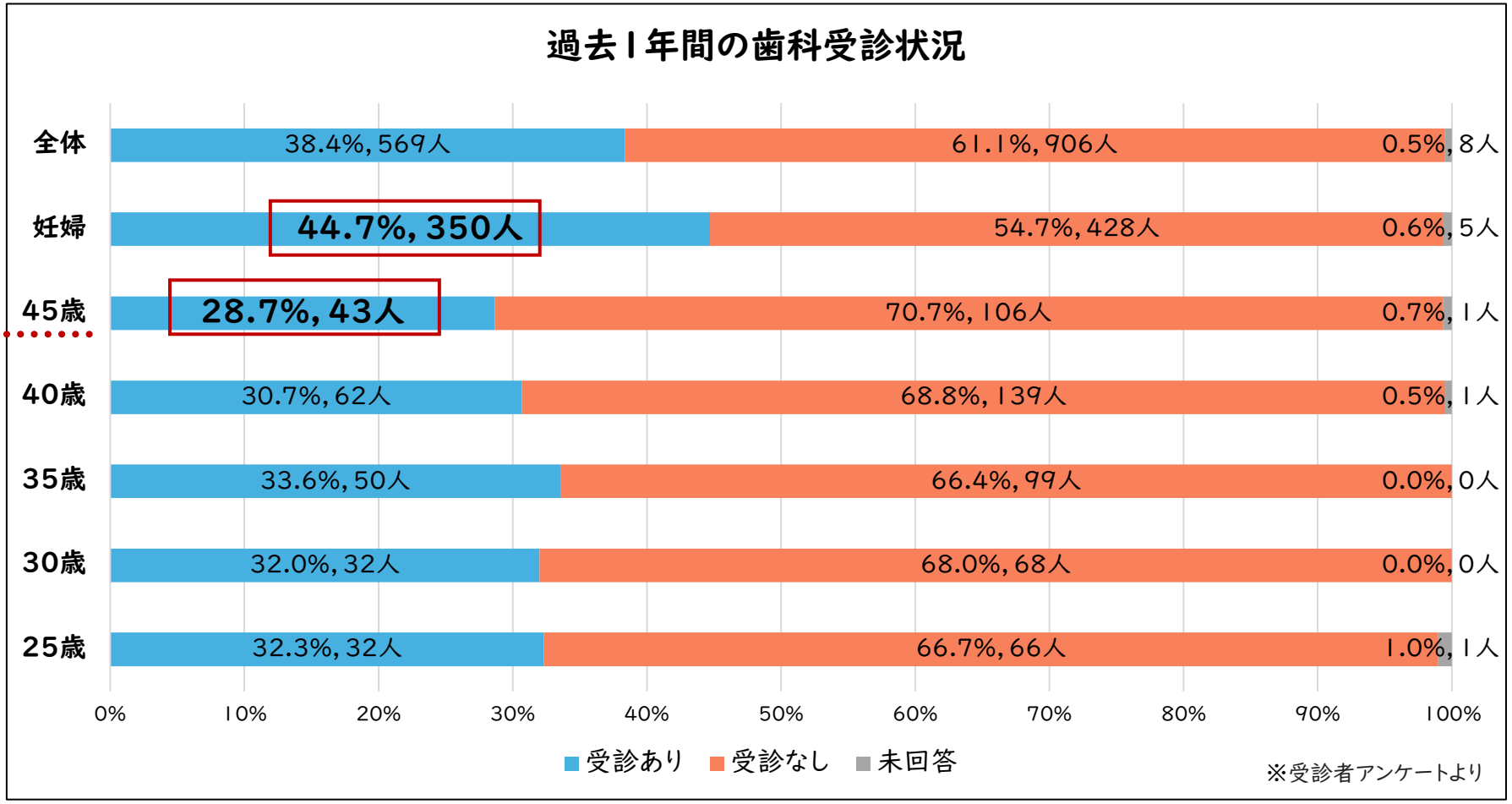
- 受診結果について、約6割が要精検となっている。
- 年齢が上がるにつれ、要精検の割合が高くなる傾向にある。

図表4



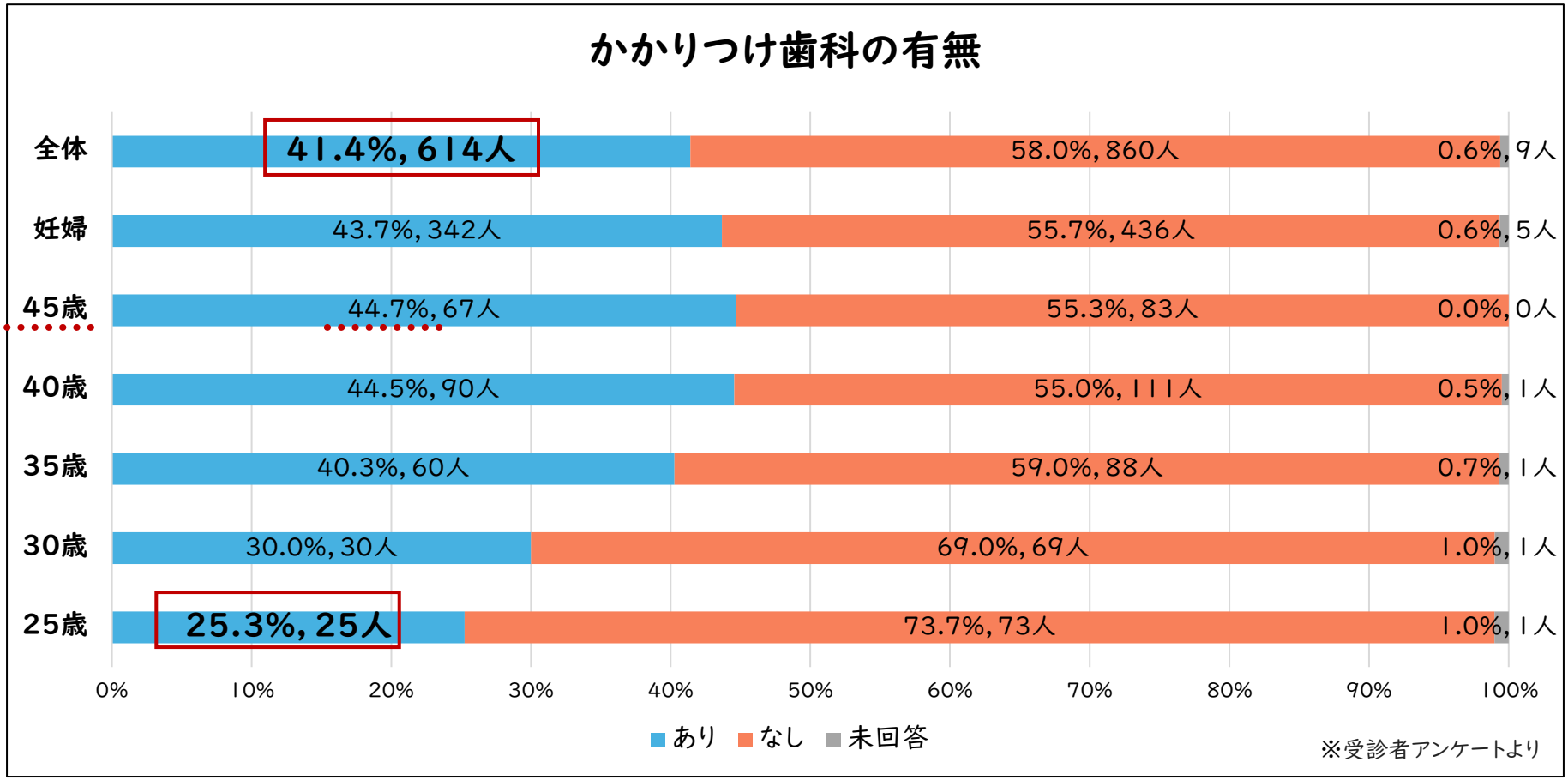
- 各年齢とも6割以上が歯周ポケット4㎜以上（歯周病疑い）であった。
- 未処置歯の割合について、全体が50.6%に対し、25歳は61.8%と高い傾向にあった。

図表5



- 「受診あり」の割合は、妊婦が44.7%と最も高く、45歳が28.7%と低かった。

図表6



- 全体の41.4%が「かかりつけ歯科がある」と回答したのに対し、25歳では25.3%と低かった。
- 45歳について、かかりつけ歯科を持つ者の割合は高いものの、過去1年間の歯科受診率（図表5）は低く、かかりつけ歯科の確保が定期的な歯科受診につながっていない状況が伺える。

5. 令和8年度実施状況

【4月～7月までの受診人数】

図表7

年度	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	妊婦	合計（人）
R3	-	81	65	82	72	198	498
R4	-	88	67	92	57	194	498
R5	-	61	51	67	47	250	476
R6	-	57	68	85	71	283	564
R7	49	43	72	87	61	292	604
R8	66	51	54	70	58	289	588

- 令和8年4月～7月までの受診状況については合計588人となっている。
- 25歳の受診状況について、一定期間、経年推移を確認し今後の歯周病検診のあり方を検討していく。

歯科保健啓発について

1. 事業概要

子育て教室や自治会・高齢者サロン等、地域からの依頼により、歯科衛生士が健康教育を実施している。

2. 実施状況

図表8

区分		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
母子	実施回数（回）	1	0	1	1	6	4	2
	参加人数（人）	7	0	10	18	135	61	24
成人 高齢者	実施回数（回）	1	1	3	8	9	11	5
	参加人数（人）	10	17	23	116	152	227	82

※令和8年度は7月末現在の数値

- 対象者に合わせて、むし歯・歯周病予防、オーラルフレイル予防などテーマを設定して実施している。
- 母子を対象とした内容においては、子どものむし歯予防だけでなく、保護者に向けた歯周病予防に関する話も組み込むなど、内容を工夫している。

3. 令和8年度の取組み

若年層への意識付けやセルフケアの向上を目指し、大学1校で歯科保健啓発を実施した。

【実施結果】

実施日時	令和8年6月4日（木）11時30分～13時45分
実施場所	成安造形大学（食堂内）
実施内容 （参加人数）	・歯周病リスクチェック （ 28人 ） ・ブラッシング圧体験 （ 25人 ） ・お口の相談 （ 13人 ） ・啓発資材の展示



- お口の相談コーナーでは、奥歯の正しい磨き方、適切な歯ブラシの選び方や交換のタイミングといった、日々のケアに関する実践的な質問が多く寄せられた。また、歯磨き剤の適切な使用量やうがいの回数について説明すると、「知らなかった」「子どもの頃に聞いた情報とは変わっている」といった驚きの反応があった。これらのことから、学生が最新の口腔ケアに関する情報に触れる機会が少なく、基本的なケアに関する正しい情報の普及啓発が必要であることが分かった。
- 対面での説明や実演は、一方的な情報提供に留まらず、学生一人ひとりが自身の歯・口腔の健康について振り返り、行動変容を促す貴重な機会となるため、次年度以降も大学と連携し、より多くの方に参加いただける場での実施や効果的な啓発・情報発信を展開していく。

特定健康診査結果説明会での歯科保健指導について

1. 事業概要

歯・口腔の健康保持・増進が、全身の健康状態に影響することから、就労世代に対し唾液による歯周病チェックを実施し、歯周病と全身疾患との関連性や、セルフケア及び定期歯科検診の重要性について周知・啓発を行い、口腔健康管理の意識の向上等を図る。

2. 令和7年度実施結果

対象者	大津市国民健康保険被保険者で、集団特定健康診査結果説明会に参加した者（年度末年齢40歳～74歳）
実施方法	結果説明会の場に歯科コーナーを設け、歯周病リスクチェック（LDH test NAGATA）及び歯科保健指導を実施
実施期間	令和7年9月～12月、令和8年3月（計17日間）

【LDH test NAGATA】

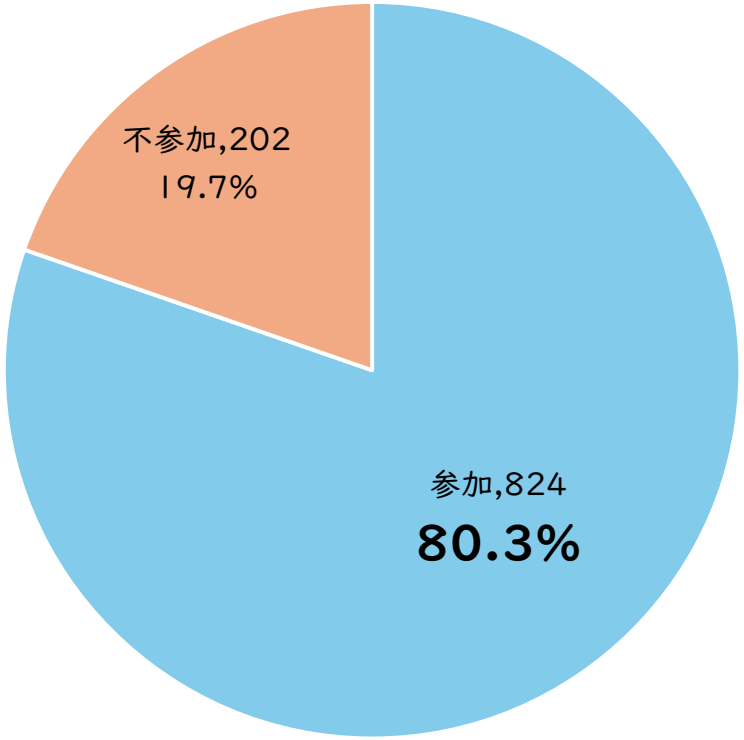
唾液中に含まれる乳酸脱水素酵素(LDH) の活性を測定するための試験紙。唾液を試験紙に浸し、60 秒後の発色部の色調をみる。



歯科コーナー参加率

図表9

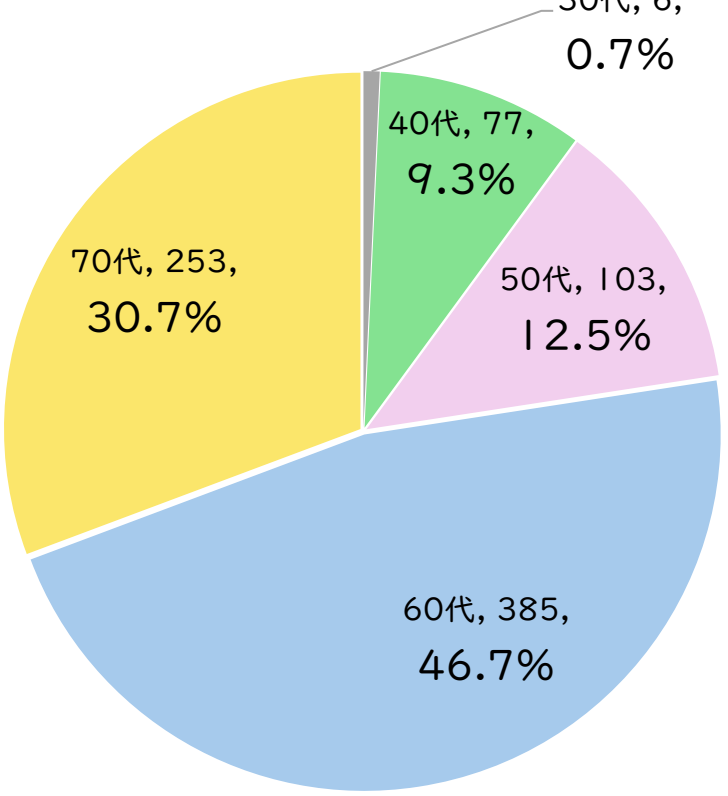
n=1,026



参加者の年代

図表10

n=824



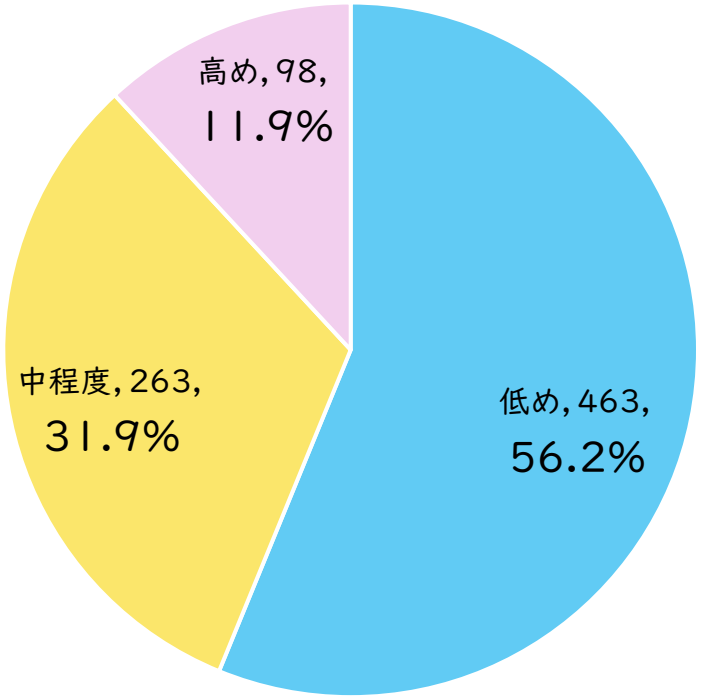
※年度内の誕生日を迎える前の受診者が含まれており30代（39歳）が含まれている

- 集団特定健康診査結果説明会参加者1,026人のうち、824人が歯科コーナーに参加した。（参加率：80.3%）
- 参加者の年齢構成は、60歳代が最も多く、次いで70歳代が多かった。

歯周病リスクチェック結果

図表11

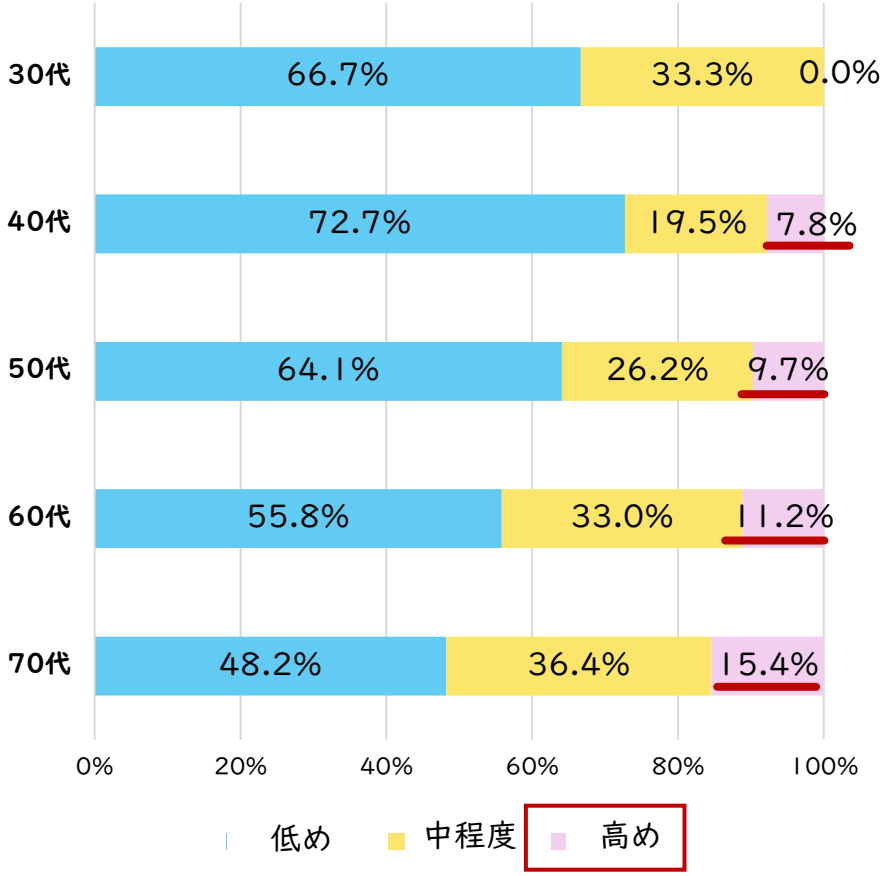
n=824



LDH test NAGATAの判定でリスクを分類した
3以下：低め、4～5：中程度、6以上：高め

年代別 歯周病リスクチェック結果

図表12

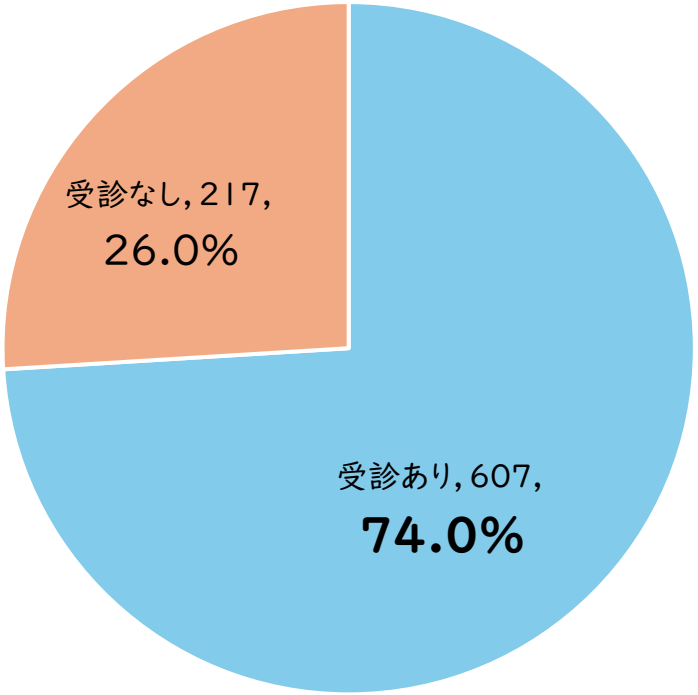


- 歯周病リスクチェックの結果「低め」が56.2%と最も多く、次いで「中程度」31.9%、「高め」11.9%であった。
- 年代別で歯周病リスクチェックの結果を比較したところ、年代が上がるにつれ、「高め」の割合が多くなった。

過去1年間の歯科受診状況

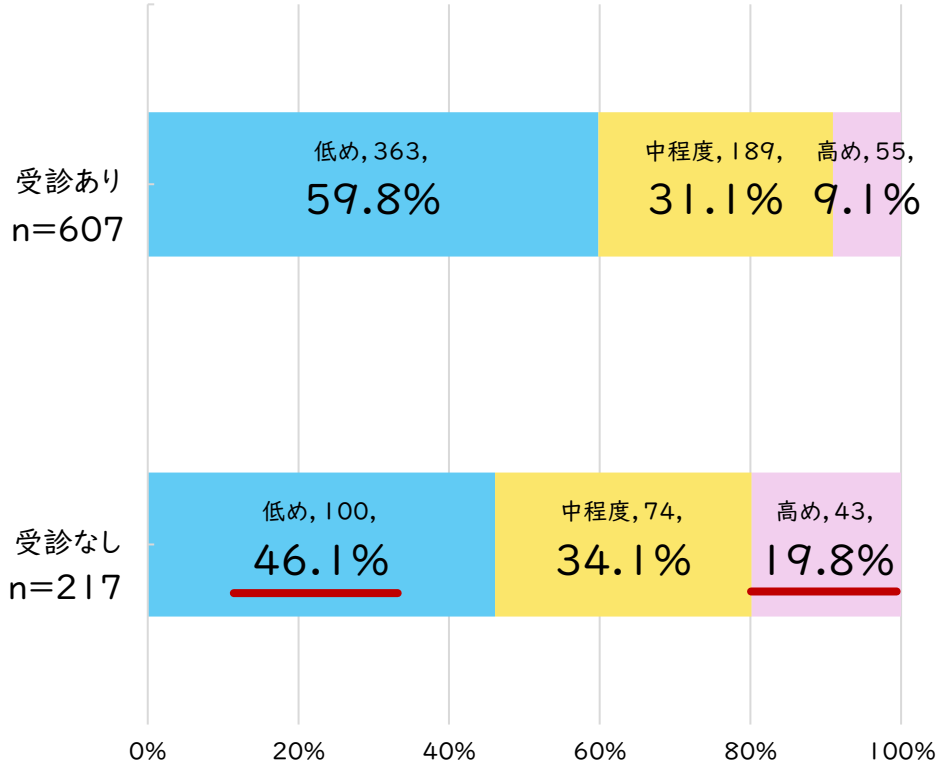
図表13

n=824



過去1年間の歯科受診状況別 歯周病リスクチェック結果の比較

図表14

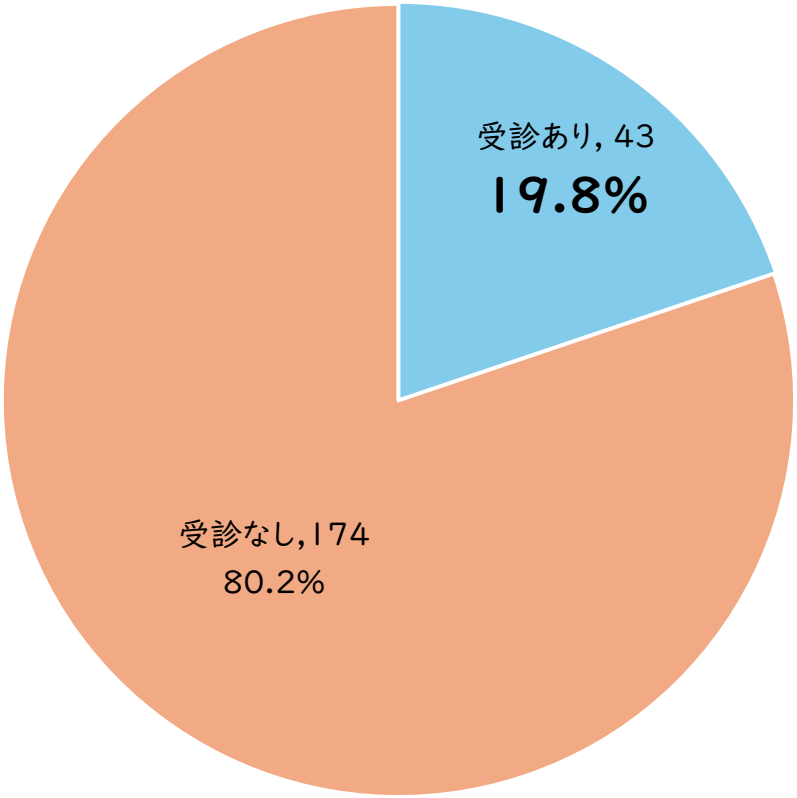


- 過去1年間の歯科受診状況については、「受診あり」が74.0%であった。
- 過去1年間の歯科受診状況別、歯周病リスクチェック結果については、「受診なし」の者は、「受診あり」の者と比較すると、「低め」の割合が13.7ポイント低く、「高め」の割合が10.7ポイント高かった。

歯周病リスクチェック実施後の歯科受診行動

図表15

n=217



- 過去1年間歯科受診がない者（217人）について、事業実施後、KDB（国保データベース）システムを用いて、歯科受診の追跡調査を行ったところ、43人の受診確認ができた。（受診率：19.8%）

（R8年5月末時点）

3. 令和8年度実施について

対象者	大津市国民健康保険被保険者で、集団特定健康診査結果説明会に参加した者 （年度末年齢40歳～74歳）
実施内容	結果説明会の場に歯科コーナーを設け、口腔チェック（LDH test NAGATA） 及び歯科保健指導を実施
実施期間	令和8年9月～12月　計16日間実施（冬季に追加実施を予定）

※厚生労働省の指針により、令和8年度から「口腔チェック」に名称変更

フッ化物洗口事業について

1.事業概要

フッ化物洗口は、むし歯予防に効果的で、安全かつ簡単に実施できるうえ、地域の子どもたち全体を対象として実施することでむし歯重症児を未然に防ぐことが可能なむし歯予防法であることから、子どもたちの歯と口腔の健康づくりの推進に向け、幼児期から学齢期におけるフッ化物洗口を実施する。

2.小学校での実施状況（学校教育課）

【令和7年度】

対象者	石山小学校第4学年、第3学年、第2学年、第1学年の保護者が希望する者
実施期間	学年により実施時期をずらして実施
実施方法	【週一回法】 第4学年：学年一斉実施 第3学年：学年一斉実施 第2学年：少人数実施を経て学年一斉実施 第1学年：家庭持ち帰り実施、少人数実施を経て学年一斉実施
使用薬剤	オラブリス洗口液0.2%（ポーションタイプ及びボトルタイプ）
実施評価	実施方法等、事後アンケートを実施
実施結果 （人数及び実施率）	第4学年：51人（実施率66%） 第3学年：65人（実施率84%） 第2学年：53人（実施率81%） 第1学年：61人（実施率89%）

- 令和6年度に引き続き、教職員・保護者への説明を大津市歯科医師会及び大津市教育委員会で実施し、保護者が希望された児童を対象に実施した。
- 第1学年から第4学年まで段階的に実施することで、教職員の経験や学校の体制づくりができた。
- 実施後の保護者アンケート結果から、「今後もフッ化物洗口を希望したい」と回答した者は約90%という結果であった。

【令和8年度】

	石山小学校	富士見小学校
対象者	第5学年、第4学年、第3学年、第2学年、第1学年の保護者が希望する者	第3学年、第2学年、第1学年の保護者が希望する者
実施期間	（学年により実施時期をずらして実施） 第2学年から第5学年：1学期から実施 第1学年：2学期から段階的に実施	1学期：職員説明会、保護者説明会、 学校シュミレーション研修 2学期：学年ごとに段階的に実施
実施方法	【週一回法】 第2学年から第5学年：学年一斉実施 第1学年：2学期から家庭持ち帰り実施、 少人数実施を経て学年一斉実施	【週一回法】 第1学年から第3学年： 家庭持ち帰り実施、少人数グループ実施、 教室一斉実施と段階的に実施
使用薬剤	オラブリス洗口液0.2%（ポーションタイプ及びボトルタイプ）	
事業評価	実施方法等、事後アンケートを実施予定	

3. 保育園・幼稚園での実施状況（幼保支援課）

【令和7年度】

対象者	大平保育園、石山幼稚園の5歳児クラス園児のうち保護者が希望する者
実施期間	令和8年1月～2月（全5回）
実施方法	家庭持ち帰り実施
使用薬剤	オラブリス洗口液0.2%（ポーションタイプ）
実施人数	大平保育園：17人（実施率74%） 石山幼稚園：14人（実施率64%）

- 職員・保護者への説明を大津市歯科医師会及び幼保支援課で実施し、希望者への家庭持ち帰り実施ができた。また、4歳児へフッ化物洗口に関する啓発チラシの配布も行った。
- 今後も小学校の取組と連動する形で5歳児への持ち帰り実施を継続していく。

【令和8年度】

対象者	大平保育園、石山幼稚園、富士見幼稚園の5歳児クラス園児のうち保護者が希望する者
実施期間	令和9年1月～2月（全5回）
実施方法	家庭持ち帰り実施
使用薬剤	オラブリス洗口液0.2%（ポーションタイプ）
事業評価	保護者アンケートの実施を予定

資料3

報告事項

（3）長寿福祉課より

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について
- フレイル予防事業について

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

1. 事業概要

大津市では、医療保険者である後期高齢者医療広域連合より受託して、令和3年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に取り組んでいる。これは、令和2年度から75歳以上の高齢者に対する保健事業について、市町村が介護保険の地域支援事業等と一体的に実施することができるよう法改正されたことによるものである。個人差の大きい高齢期に、一人一人にあった支援を行うため、国保データベース（KDB）システムに登録された健診データや後期高齢者の質問票、レセプト（医療・介護）情報などから、高齢者の健康状態を把握し、保健事業を実施する。

①ポピュレーションアプローチ：健康いきいき講座、リハビリテーションセラピスト出前講座
（地域リハビリテーション活動支援事業との連携）

高齢者の通いの場（サロン等）に講師・セラピストを派遣する健康いきいき講座・リハビリテーションセラピスト出前講座に、口腔機能メニューを含んでいる。

また、講座では後期高齢者の質問票により参加者の健康状態を把握し、口腔機能の低下が疑われる方へ後日電話にて歯科衛生士や保健師等が健康相談、保健指導を実施している。

【実施状況】

図表1

年度	健康いきいき講座		リハビリテーションセラピスト出前講座	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
R3	27（8）	392（119）	20（5）	316（83）
R4	28（6）	436（60）	24（5）	473（77）
R5	54（7）	1,008（103）	50（8）	824（122）
R6	70（8）	1,143（122）	43（10）	841（169）
R7	60（8）	943（127）	63（12）	1,172（208）

※（）は口腔機能メニューの数

※質問票からの保健指導実施状況

図表2

年度	ハイリスク者	保健指導実施	プログラム参加
R4	102	64	13
R5	527	318	38
R6	192	143	6
R7	200	124	2

②ハイリスクアプローチ：口腔機能低下予防事業

口腔機能が低下している者に歯科衛生士等が訪問して、オーラルフレイルやその他健康に関する問題を把握することで、その高齢者の心身の状態に応じた支援を行い、口腔機能の状態を改善、維持を図ることを目的としている。

対象者	市内に居住地を有する75歳以上の者であって、下記に該当する者 • 令和6年度後期高齢者歯科健康診査（76歳、81歳）を受診した者で、健診結果が要指導・要治療・要検査に該当したが、健診後に受診歴のない者 • 通いの場で把握したハイリスク者 • 令和7年度後期高齢者健康診査を受診した者で、質問票（咀嚼機能、嚥下機能）いずれかに該当、かつレセプト情報で過去1年間歯科受診のない者
事業内容	• 対象者に対し個別指導を実施する • 対象者のうち希望者に、口腔機能低下予防プログラムを実施する。（1クール3～6か月間、月1回、歯科衛生士や言語聴覚士による電話や訪問による指導）

【実施状況】

図表3

年度	保健指導実施人数	口腔機能低下予防プログラム参加人数
R3	107	18
R4	149	33
R5	380	52
R6	178	13
R7	209	14

2. 令和8年度実施状況

後期高齢者健康診査受診者で口腔機能低下予防事業の対象となる方に対して、オーラルフレイルチェック表を送付し、その返信がない方には、電話又は訪問で状況を聞き取り、保健指導を行っていく。

フレイル予防事業について

1. 事業概要及び内容

フレイル予防、健康な生活を送る意識付けを目的として、介護予防のパンフレットと併せて市で実施している一般介護予防事業の周知を行う。

また、無料体験クーポンの配布を行い、「フィットネスジム等の運動体験」、「歯科口腔チェック」、「栄養講座とバランスのとれた食事の試食」、「はり・きゅう・あん摩マッサージ」「健康セミナー（身体のゆがみ＆声による認知機能の測定会付）」の5項目のメニューの中から1つを選択し、体験を行うもの。

【実施状況】

図表4

年度	利用者（人）	対象者（人）	利用率（%）	内訳（人）				
				運動	歯科・口腔チェック	栄養	はり・きゅう・あん摩マッサージ	その他
R4	360	3,925	9.2	78	68	56	158	-
R5	499	3,921	12.7	86	55	28	108	222（ミールキット）
R6	344	4,205	8.2	103	62	61	118	-
R7	280	3925	7.1	50	43	62	75	50（健康セミナー）

※歯科・口腔チェック受診状況

図表5

年度	異常なし	要指導	要精密検査	不明
R4	22	10	35	1
R5	18	5	32	-
R6	19	7	36	-
R7	17	4	22	-

2. 令和8年度実施状況

今年度は健康セミナーを除く、4項目のメニューで、70歳を対象に実施予定